

福祉委員へ突撃インタビュー

市社協では、近隣住民の「見守り」「支え合い」などの活動を通じて、いつまでも安心して暮らせる地域社会づくりを推進していくため、自治会を単位に福祉委員の設置をお願いしています。福祉委員は、ひとり暮らし高齢者等とお会いしたときに声かけをしたり、見守り、訪問などの活動をしています。今回、お二人の福祉委員にインタビューしました。

岡保地区 大林 愛さん(40代)

河合地区 川端 博美さん(40代)

Q 普段、どんな活動をしていますか？

A 10軒ほどの自治会ですが、高齢者の見守り活動や地域で実施しているサロンの手伝いをしています。他に、岡保地区社協が実施している福祉まつり等の手伝いや岡保地区社協の会議等に、年数回、参加しています。仕事をしているので、できる範囲で活動しています。

A 月1回、民生委員さんたちと集会所でサロンを行っています。また、高齢者福祉事業所の職員さんも来てくれるので、一緒に体操したりおしゃべりをしています。時々、サロンの案内を持って訪問したり、地域の方の農作業している姿を見かけると、声をかけて立ち話をすることもあります。

Q 活動の楽しさややりがいは何ですか？

A サロン活動があることを知ったり、一緒に健康体操を楽しんだり、地域の方々との関わり合いができたことがとても良かったです。地域の順番で福祉委員になり、自分に務まるのかとても不安がありました。サロンのお手伝いを重ねる中で、高齢者の方々ともおしゃべりするようになり、雪が降った後などは、大丈夫かな？と地域を回るようになりました。

A はじめは、福祉委員の具体的な活動についてよく分からなかったのですが、見よう見まねでしているうちに、住民の皆さんとの関わりが楽しくなっていました。人生の先輩として教えてもらうことも多くあり、楽しく活動をしています。少しでも多くの方にサロンに来てほしいと思うようになり、工夫を凝らしながら企画しています。

Q 福祉委員になって、気づいたことや良かったことは？

A 地域の方と関わることは、社会奉仕活動や防災訓練等の地域行事以外あまりなかったのですが、福祉委員活動を通して、いろいろな方とお話をする機会がとて増えました。皆さん、とても明るく楽しい方ばかりで、地域の方と関わり合えることが、とても嬉しいです。



▲長寿まつりでの活動の様子

A 活動を通して良かったと思えるのは、地域の方との交流が増えたことです。

また、いつの間にか、地域の方々を気にかけるようになりました。外出した時に、畑で作業している姿を見て、今日も元気にしてるわ、と安心したり、用事がなくても、自分から話しかけたり、声をかけてもらったりしてサロン以外でも、よくお話しするようになりました。



▲訪問の様子

問い合わせ 市社協 地域福祉課 TEL 0776-26-1853

見守り活動に関する あったかメッセージが届きました！

「あったかメッセージ」とは、見守り活動している方々（福祉委員や民生委員児童委員など）への応援メッセージです。発信してくださったのは、見守り活動している方から声かけられている皆さん。地域の中での心地よさ、ほっこりしたエピソードや、見守り活動への励ましなど、人と人とのつながりを元気づける数々のメッセージをぜひ、ご覧ください。



一人生活7年目を迎えます。最初の頃は、淋しさと怖さで不安な日々でした。でも、日々を過ごすうちに、ご近所の方々や民生委員の方々等のお声かけをいただき心が安らぎました。また、娘も顔を出してくれたので、落ち着き、今は笑顔も世間話も出て、周囲の方々のおかげで元気に過ごしています。(大安寺地区/80代)



町内から少々離れて暮らす独り身にとっては、何日も他人と話すことも笑うことも少ない毎日ですが、時々、訪ねてくれたり、会合に誘ってくださることに喜んでます。食事サービスのお弁当も楽しみにしています。(河合地区/80代)



一番の楽しみは、食事サービス。役員の方は朝早くから大変だと思います。また、デイホームでは、私たちが楽しく過ごせるように気配りくださり、次回のチラシを配りながら様子を見てくださる。一人暮らしの私には本当にありがたく、感謝しています。(河合地区/80代)



食事サービスを受けて20年になります。雪降る中、お弁当を持って来ていただき、心から感謝しています。一人暮らしの淋しさを和ませていただいています。毎回食べて思わず出る言葉は、「ああ、うまかった〜」です。(豊地区/90代)

そのほかの“あったかメッセージ”は、ホームページや各地区の社協だよりでも順次紹介させていただきます。



問い合わせ 市社協 地域福祉課 TEL 0776-26-1853